

車輪脱落事故多発に伴う事故防止対策と冬用タイヤ等の確実な装着について

本年1月12日(水)午後0時半ごろ、渋川市半田の国道17号線において、大型トラック(白ナンバー)の左後輪2本が外れ、内1本が歩行者に衝突し、重傷を負わせる事故が発生したことを踏まえ、(一社)群馬県トラック協会では会員事業者あてに注意喚起として緊急通知を発出しました。マスコミ報道や業界紙等で取り上げられている車輪脱落事故の原因の多くは、ホイール・ナットの緩みによるものです。

また、同年1月11日に福島県須賀川市池下の国道4号線において、群馬ナンバーの事業用大型トラックによる雪道での立ち往生が発生したとの情報を受け、同様に緊急通知を発出しました。

適正化通信 No. 159号(令和3年11月号)の「冬用タイヤ等の確実な装着と車輪脱落事故防止対策」を改めて読み返していただくとともに、個々の運転者に対しても徹底、実践していただければと思います。

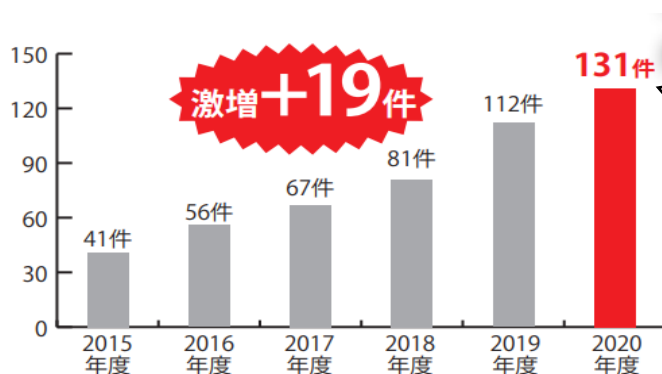
最近の車輪脱落事故事例

- ・令和3年12月6日 広島県内の高速道路での事業用大型トラックの左後輪脱落による衝突事故(広島県広島市の国道2号線八本松トンネル内を走行中に左後輪2本が外れ、対向車に衝突)
- ・令和4年1月12日 群馬県内の国道において自家用大型トラックの左後輪脱落による重傷事故(群馬県渋川市の国道17号線渋川市半田付近を走行中に左後輪2本が外れ、歩行者に衝突)
- ・令和4年1月18日 岐阜県内の高速道路での自家用大型トラックの左後輪脱落による負傷事故(岐阜県中津川市の中央自動車道で走行中に左後輪2本が外れ、1本はPAにて走行中の普通乗用車に衝突し、1本は道路の反対側にあるPAに転がり大型トラック2台に接触)

雪道スタックの情報(「国土交通省東北地方整備局郡山国道事務所」発出文書一部抜粋。)

- ・令和4年1月11日 福島県須賀川市池下の国道4号線(下り)にて事業用大型トラック(群馬ナンバー)が約2%の勾配でスタックし、大渋滞が発生した。

当時の路面状況はシャーベット状。前輪は冬用タイヤを装着していたが、後輪はノーマルタイヤの状態であったため、チェーンを装着し自力走行した。予備のチェーンも2本しか携行せず、準備不足といわざるをえない。



※統計データは、「自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告」(国土交通省提供)による。以下、同じ。
※大型トラック:車両総重量8トン以上

大型車の車輪脱落事故防止については、2018年度より緊急対策を策定し、積極的に取り組んできたところですが、2020年度の事故発生件数は、1999年度からの統計上最多の131件と危機的な状況になっています。

不明な点は気軽に適正化指導員にお尋ね下さい。
群馬県貨物自動車運送適正化事業実施機関
電話 027-212-8821